

製品名: カゼインキナーゼ I α 1/1L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07939**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	CSNK1A1/CSNK1A1L
別名	CSNK1A1L; Casein kinase I isoform alpha-like; CKI-alpha-like; CK1; CSNK1A1; Casein kinase I isoform alpha; CKI-alpha; CK1
遺伝子 ID	122011/1452
SwissProt ID	Q8N752/P48729
免疫原	抗血清はヒト CKI- α 1/L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

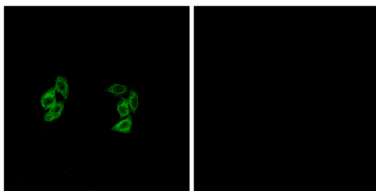
背景触媒活性: $\text{ATP} + \text{タンパク質} = \text{ADP} + \text{リン酸化タンパク質}$ 。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質とし

て優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wntシグナル伝達に関与します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。触媒活性: $ATP + \text{タンパク質} = ADP + \text{リン酸化タンパク質}$ 。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質として優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wntシグナル伝達に関与します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。

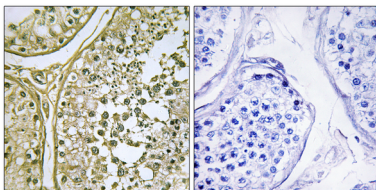
研究分野

WNT;WNT-T 細胞ヘッジホッグ;

画像データ



CKI-alpha1/L抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像。



CKI-alpha1/L抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。